

(様式1)

平成27年度試験研究課題設定のための要試験研究問題提案・回答書

(整理番号) 094	提案機関名 畜産技術センター企画指導部普及指導課
要望問題名 ホルスタイン産子の雌率の向上	
要望問題の内容 【 背景、内容、対象地域及び規模(面積、数量等) 】 豪州とのEPA合意の影響は、国内乳用種雄肥育農家に大きな影響を及ぼすと推測される。県内には乳雄肥育農家は無いが、酪農家における雄子牛価格の暴落として大きく影響が出ると考えられる。このことから、酪農家はなるべく乳用種の雄を生産せず、性選別精液等を利用して効率よく雌子牛を生産し後継牛を確保するとともに、余剰の成牛から受精卵移植で和牛子牛を生産することも、経営向上の一助になると考えられる。多くの酪農家はその有効性を理解しているが、性選別精液の価格の高さと受胎率の低さのために利用を躊躇しているのが現状である。 現在でも、性選別精液の利用や受精卵移植の受胎率向上に取り組んでいることは承知しているが、より一層の向上と、その技術の普及をお願いしたい。	
解決希望年限	①1年以内 <input checked="" type="checkbox"/> ②2～3年以内 ③4～5年以内 ④5～10年以内
対応を希望する研究機関名	①農業技術センター <input checked="" type="checkbox"/> ②畜産技術センター <input type="checkbox"/> ③水産技術センター <input type="checkbox"/> ④自然環境保全センター
備考	

※ ここから下の欄は、回答者が記入してください。

回答機関名	神奈川県畜産技術センター	担当部所	企画研究課
対応区分	①実施 <input checked="" type="checkbox"/> ②実施中 ③継続検討 ④実施済 ⑤調査指導対応 ⑥現地対応 ⑦実施不可		
試験研究課題名 (①、②、④の場合) 性選別精液を利用した後継牛生産技術の開発)			
対応の内容等 希望する性別の子牛を90%以上の確率で生産できる性選別精液が市販されていますが、ストローに充填された精子数が少ないことなどから、期待した受胎率が得られないことが課題となっています。 当所では性選別精液を利用した後継牛の計画的な生産を実現するために過剰排卵処理牛や経膈採卵牛に対する利用方法についての試験を実施しており、技術の確立を進めるとともに技術情報の伝達に努めます。また、(一社)家畜改良事業団では人工授精の受胎率向上のために「正確な発情確認、適期の授精、凍結精液の融解条件、凍結精液の取り扱い」などを記載した「Sort90人工授精マニュアル」を公開していますので、参考にして下さい。			
解決予定年限	①1年以内 <input checked="" type="checkbox"/> ②2～3年以内 ③4～5年以内 ④5～10年以内		
備考			